

当事者意識をもって課題について考察し、  
解決に向けて自ら構想していく力を養う社会科学習の在り方  
—第 5 学年の工業学習における西村勝三の軌造りを通して—

1. 設定理由

2015 年に出された中教審の「教育課程企画特別部会 論点整理」では、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」を実現することが求められている。本実践では社会的事象同士の関連について理解を深めることで、把握した課題の解決に向けて考察し、どのように関わっていけるかを構想するという力を養うことを目指した。これからの工業の姿を考察する学習において地元佐倉の人物の功績を教材化し、自らと社会との関連を捉えれば、課題を考察し解決に向けて自ら構想する力が育成できると考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

【仮説 1】

地域教材を学習や道徳で活用したり、過去と現在の工業を比較したりすれば、学習内容が身近になり現代社会の課題を自らと関連付けて考察できるだろう。

【仮説 2】

学習協力者を活用したりまとめ方を工夫したりすることで、これからの我が国の工業について自らと結び付けて構想できるだろう。

3. 研究内容

これからの工業の姿を考察する学習において地元佐倉の人物の功績を教材化し、自らと社会との関連を捉えれば、課題を考察し解決に向けて自ら構想する力が育成できることを実証する。

- ① 児童が社会に見られる課題を把握する力を育む指導法 / 授業実践と児童の変容の分析
- ② 児童が課題解決に向けて自ら構想できる力を育む指導法 / 授業実践と児童の変容の分析
- ③ 第 5 学年の学習における地域素材の教材化 / 地域の企業や人材を調査、教材研究

4. 結 論

○ 地域教材や他教科と関連させる活動、過去と現在の工業の共通点や相違点をもとに考えることを通して、課題が明確になり、自らを取り巻く社会が抱える課題について考察できるようになった。

○ 学習協力者を活用したり、これからの工業の姿を構想する未来予想図を用いてまとめたりすることで、これからの我が国の工業についてより自らと結び付けて構想できるようになり、自らと社会との関わり方について考えることができた。

## 1 研究主題

当事者意識をもって課題について考察し、解決に向けて自ら構想していく力を養う  
社会科学習の在り方 ～第5学年の工業学習における西村勝三の軌造りを通して～

## 2 主題設定の理由

### (1) 現代社会の要請から

将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会に、どのように向き合い、どのような資質・能力を育成していくべきか。2015年に出された中教審の「教育課程企画特別部会 論点整理」では、「複雑で変化の激しい社会の中では、固有の組織のこれまでの在り方を前提としてどのように生きるかだけでなく、様々な情報や出来事を受け止め、主体的に判断しながら、自分を社会の中でどのように位置付け、社会をどう描くかを考え、他者と一緒に生き、課題を解決していくための力が必要となる」ことが挙げられている。社会科の学習においても、「社会の中で自ら問いを立て、解決方法を探索して計画を実行し、問題を解決に導き新たな価値を創造していくとともに新たな問題の発見・解決につなげていくことのできる」資質・能力を育成することが述べられている。知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」を実現することが求められている。これらのことを受け、本主題を設定した。

### (2) 新学習指導要領から

学習目標(2)「社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に捉える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う」と内容(3)ア(イ)「工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして工業生産を支えていることが分かるようにする」を受け、本主題を設定した。

### (3) 印教研研究主題から

よりよい社会の実現に寄与する「生きる力」を培う社会科学習  
～自ら課題をみいだし、自らの考えを表現できる児童生徒の育成をめざして～

自ら課題をみい出す為には、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したりする活動を通して社会に見られる課題を把握する必要がある。その解決に向けて、解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることが自らの考えを表現できることにつながると考えた。これにより、主題にある「よりよい社会の実現に寄与する『生きる力』」が培われていくと考え、本主題を決定した。

### (4) 先行研究から

社会に見られる課題について考察し、その解決に向けて構想したりそれを表現したりする実践はこれまでに何度も行われてきた。

- ・平成28年度 宮川教諭実践 【他の地域教材での、自らとの関連に対する変容の考察】
- ・平成29年度 久保教諭実践 【東京オリンピック・パラリンピックに向けた課題を把握し、自分たちにできることを考える学習】

上記の実践において課題として「社会との関わりにおいて、自分が関わる活動を考えられる」段階まで進まなかった児童がいたことが挙げられている。その理由は社会的事象同士の関連の把握が不十分だと、自らと社会との関連を捉えられないことである。そのため、本実践では社会的事象同士の関連について理解を深めることで、把握した課題の解決に向けて考察し、どの

ように関わっていけるかを構想するという段階まで進むことを目指し、その中で児童がどこまで変容するかについて検証するために本主題を設定した。

### (5) 児童の実態から (5年2組 35名)

本学級の児童は社会科学習に対する関心意欲が高く、既習事項の学習にも高い関心意欲をもち取り組んできた(資料編 1-1-3 より)。一方で自身と社会とのつながりには高い関心意欲をもっておらず、当事者意識も薄い。自身と工業のつながりや、これからの工業についてはさらにその傾向が強い。工業やそれに関わる人々の工夫や努力は理解しても、当事者意識や、自分達の将来にどう関わるのかという視点がない。社会が抱える何かしらの問題を考察するという点において課題があると言える。そのため、当然構想することも難しく「社会と自らとの関連」という視点がないため他者的に社会的事象同士の関連を捉えることに終始している。一方、自分が住む佐倉に対してはそのすばらしさを理解し、好きだと感じている児童が多くいる。児童は1年生から「佐倉学」という地元佐倉についての学習を積み重ねており、佐倉への愛着の要因だと考えられる。しかし佐倉の先人が自分達の暮らしを支える工業に多大な貢献をしたことについて児童は全くと言っていいほど知らなかった。あくまで「ふるさと佐倉のために頑張った人達がいた」という意識にとどまっており、よりよい社会の実現のために尽くしてきた先人の姿はそこから見えてきていない。また、「明治日本の工業の父」とも称される西村勝三の功績についてはどの児童も知らなかった。このため本実践では、西村勝三や REGAL の取り組みを用いて、身近な課題に気づき学びに向かう力を高めていきたい。さらに佐倉の地域教材を取り入れることで、自らと社会とのつながりや、昔と現在との共通の課題が明確になり、これからの我が国の工業との関わり方を考えていけるようになると考え、本主題を設定した。

## 3 主題について

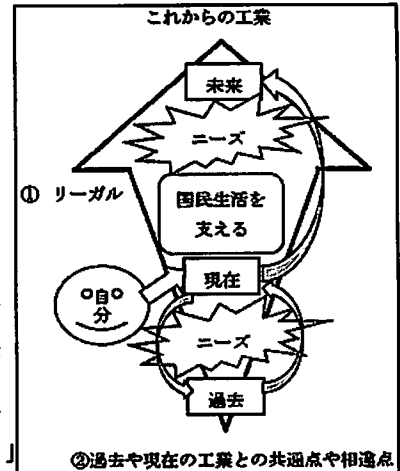
### (1) 課題を考察するとは

課題を考察するとは社会的な見方・考え方をもとに「社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考察すること」であると捉えた。社会的事象の特色や関連、意味を多角的に考察することができれば、社会が抱える課題について正確に把握することができるだろう。そこで本実践では次のことが出来れば課題を考察できたと捉えた。1点目は「工業生産に関わる人々が、消費者の需要や社会の変化にどのように対応したのか理解する」こと。2点目は「明治時代も現代社会も共通する課題があることを理解する」ことである。

児童は自らと社会の関わりを実感できず、これからの我が国の工業について構想することが難しい。そこで、地域の先人である西村勝三など工業生産に関わる人々が消費者の需要や社会の変化にどのように対応したのかを知ることで、時代によって社会が求めるニーズは変化しているが、ニーズに応えるという姿は変わらないことを社会科の見方・考え方の1つである時間を追って理解すれば、課題について考察できるようになるであろう。

### (2) 解決に向けて自ら構想していくとは

解決に向けて自ら構想するとは、「社会に見られる課題を自分事として捉え、関わり方を選択・判断すること」と捉えた。社会に見られる課題へ自分なりに関わり方を選択・判断することができれば、社会が抱える課題の解決に向けて構想できるだろう。本実践では、解決に向け



て自ら構想していく児童の姿を以下の2点とした。1点目は「これからの工業に求められている課題が何であるのかを把握し、解決策を考える」こと。2点目は「工業が抱える課題に対して、自らの課題と捉えて関わり方を考える」ことである。

## 4 教材について

### (1) 佐倉の先人 西村勝三

西村勝三は明治期の実業家として新しい産業を次々と興した人物である。特に西洋靴製造では日本靴の父と呼ばれるほどの人物であり、佐倉市民体育館前に日本製靴組合が建てた銅像もある。西村勝三は西洋に負けない製品を造り続け、興した企業は現在にまでしっかりと受け継がれている。その企業が百年以上にわたって社会に貢献できるということは、創業当時の経営者の理念が明確であり、その製品が社会にとって必要なニーズに応えたものであったということである。また当時の社会が求めるニーズに対応した製品を造り続けてきたことを知れば、それが今の工業にも受け継がれた理念だということに気づくだろう。私たちの生活に欠かすことのできない日本の工業の基礎を築いた地元佐倉出身の西村勝三の功績を紹介することで、児童の工業への興味関心が高まり、児童はより自分と工業の関連を捉えやすくなるだろうと考える。

### (2) REGAL

REGALは1902(明治35)年の創業以来、一貫して靴の企画・製造・販売に従事する製靴会社である。上記の西村勝三が創業に関わっており、これからの工業と自分自身の関連を考えさせる際に児童が興味をもち、自分達とのつながりを見つけやすいと考えた。百年以上の歴史を持つREGALは、日本の工業の始まりとほぼ同時に誕生し、日本の工業が取り組んできた工夫や努力がその社史と共に表れているといえる。これからの社会が求めるニーズや要望、グローバル化にも対応できるよう多くの取り組みを行っており「工業生産に関わる人々は消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた商品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解する」指導要領の内容に関わる活動を行っている。現在の取り組みを知るだけでなく、過去における工夫や努力、そしてこれからの取り組みについて知ることで、児童は日本の工業が行ってきた取り組みが、いつの時代も社会のニーズに応えてきたものであることに気づき、これからの工業の姿について地に足がついた考察をすることができると考えた。

## 5 研究の目標

これからの工業の姿を考察する学習において地元佐倉の人物の功績を教材化し、自らと社会との関連を捉えれば、課題を考察し解決に向けて自ら構想する力が育成できることを実証する。

## 6 研究の内容と方法

### 【研究内容／研究方法】

- ア 児童が社会に見られる課題を把握する力を育む指導法／授業実践と児童の変容の分析
- イ 児童が課題解決に向けて自ら構想できる力を育む指導法／授業実践と児童の変容の分析
- ウ 第5学年の学習における地域素材の教材化／地域の企業や人材を調査、教材研究

## 7 研究仮説と手立て

### 【仮説1】

地域教材を学習や道徳で活用したり、過去と現在の工業を比較したりすれば、学習内容が身近になり現代社会の課題を自らと関連付けて考察できるだろう。

### 手立て① 地元佐倉に関わりのある教材を取り入れたり、他教科と関連づけたりする

本実践で扱う佐倉出身人物の西村勝三は、先述した REGAL と密接に関わっている。導入で REGAL の靴造りの様子や 30 年以上経っても履き続けることができる REGAL の靴を見たり、百年以上前から日本の靴造りを支えてきたことを知ったりすることで、児童に「いつから」「だれが」ここまでのこだわりをもって取り組んできたのかということに疑問をもたせる。その後 REGAL の創業に関わった佐倉出身の西村勝三の功績を紹介することで、児童は学習内容をより身近に感じるであろう。西村勝三を道徳で扱うことで内容項目「公共の精神」「国や郷土を愛する態度」を育てるだけでなく、西村勝三が私欲ではなく世のため人のために靴造りに取り組んだことが、現在の REGAL 社である「お客様第一・社会から高い信頼を得る」という考えにつながっていることに気づくと考える。社会科と道徳での学習を通して、社会に見られる課題の解決に向けて努力を惜しまなかった先人の姿をより深く知れば、現在の社会に見られる課題を先人のように自分達で解決しようと考えられることにもつながるであろう。

### 手立て② 過去と現代の工業について調べ、時間を超えて共通する課題への理解を深める

児童がこれからの我が国の工業について構想できるようにするため、過去と現在の工業の共通点や相違点について調べる活動を取り入れる。導入の段階で、現在の REGAL の工夫やこだわり、努力について映像を見たり資料を読み、多くの工夫やこだわりがあることについて学び、これらが創業以来一貫して取り組まれてきたものであることを知る。次にその創業に関わった西村勝三について取り上げ、西村勝三が設立した REGAL の前身である櫻組の功績について知る。明治時代の靴造りにおいて、当時の社会が求めた「質のよい靴を、大量に、素早く供給する」ことに対応できるように人材の育成や新技術の導入などに取り組んだことを取り上げる。当時の社会のニーズに対応することで日本の工業が発達してきたことを理解できるだろう。過去も現在も社会のニーズに応えることができるように多くのことに取り組んでいる事実を実感できるようにする。それらを通して、これからも工業が発達するには社会からのニーズが必要であること、だから自分達が考えていくことが必要であると気づくであろう。

【仮説2】 学習協力者を活用したりまとめ方を工夫したりすることで、これからの我が国の工業について自らと結び付けて構想できるだろう。

### 手立て① 質問やメールでのやり取りを通し、工業に関わる人々とのつながりを作る

課題を把握し自らのこととして考える際に、児童は資料やホームページ等を活用して調べ学習を進めていくが、おそらく現在 REGAL が取り組む工夫やこだわり、努力についてはごく一部しか知ることができないだろう。さらに、今後 REGAL が取り組もうと考えている課題や社会からのニーズを知ることは難しい。そこで、REGAL アーカイブス館長をされている F さんと連絡をとり「今 REGAL に求められているものは何か」「これからどのようにそれらに対応していくのか」「今消費者や社会からはどのようなことが求められているのか」といった疑問に答えてもらう。さらに現在の工業の最前線で働く方々を身近に感じ、現代の工業が抱える多くの課題について知れば、これからの工業に対する問題意識をもたせることができるようになると思った。質疑応答の中で児童に返してもらうことで、これからの工業の姿を考察する際に、地に足のついた解決方法を構想していくことができるようにする。実際に工業に関わっている人たちに向けて質問し意見を聞くという活動を行うことで、児童は自分が社会と関わっていかなければならないということを実感できると考える。

**手立て② これからの工業について構想する際に、まとめ方を工夫する**

これからの工業について構想する際に工業に直接関わりがない児童がその姿を構想し表現することは難しいであろう。まずこれからの工業について未来予想図を描くことで児童がこれからの工業の姿を構想することができるだろうと考えた。学習を進め、課題を把握する中でこれからの工業についての理解や課題の認識が深まった最後に、これからの工業の姿を構想していく。既習事項をもとにしてニーズから課題をクリアした姿を描かせるようにする。さらには自分自身や友達同士で評価し、しっかり課題が意識されているか考えさせながら取り組ませる。そのことが「自分達で何かしら工業に関わることができるかもしれない」「もしかしたら自分たちで社会を変えられるかもしれない。」という意識をもたすことにつながれると考える。

**8 学習のアウトライン(わたしたちの生活と工業生産) 22 時間 (+ 道徳 1 時間)**

【工業生産と工業地域】 3 時間

太平洋ベルトなどの全国各地の工業地域や輸送網、海外との関係への理解を深める。

【くらしを支える製鉄業】 6 時間

消費者や社会のニーズに合った先進的な技術を開発したり環境への配慮や復興支援をしてわたしたちのくらしや社会を支えていることへの理解を深める。

※加工貿易や輸出入のこと、環境への取り組みなどに見られる工夫や努力をここで抑えた

【工業生産を支える】 5 時間

日本の工業生産は中小工場の高い技術やものづくりの伝統、運輸の働きで支えられていることへの理解を深める

【これからの工業生産とわたしたち】本実践 8 時間 + 道徳 1 時間 ※下図

日本の工業生産を発達させていくには輸入と輸出のバランスをとる、持続可能な社会を目指すための取り組みを進めるなど様々な課題の解決が必要であることへの理解を深める。

**学習のアウトライン (8 時間+1 時間)**

昔や今と比べて、これからの工業はどのような姿になるだろう

実現は可能か?

絵に描いて予想

風で動く車

工業ががんばる

←抽象的な内容

エコなロボット

今の工業の課題と比べてみるとわかるかもしれない!

製靴業のREGALの靴を紹介する。 仮説 1-0

REGALの靴は、何十年たっても使えるくらいじょうぶな作りをしているんだ

資料: REGALの新品の靴 30年近く使っているREGALの靴 靴造り映像

こんなにこだわっているんだ。

何十年も使える靴を作るなんてすごい。

でもなんでわざわざそんなに手間をかけるんだろう。

なぜREGALは手づくりやじょうぶなくつづくりやサービスにこだわりをもっているのだろう

資料: REGALのHP

最近のことではなく、以前からのこだわりだと気づかせる

資料: パンフレット

「つかむ」予想と現在を比べ学習問題を立てる。

【つかむ】(道徳)西村勝三を知り工業に興味をもつ

経営理念でお客さま第一や品質重視を心がけている

・なぜここまでこだわっているのかな。  
・いつからこんなにこだわりをもっているのかな。  
・誰からこのこだわりが続いてきたのだろう。

時間の流れがあるから課題がはつきりするから

「西村勝三」という人の銅像が佐倉市民体育館の前にあるんだね。どんな人なのかな

何をした人かな。資料：西村勝三の銅像 石碑 仮説1-① 初めて聞いた人だ。

資料：西村勝三の功績について 靴造りの写真 ガラスやレンガづくりの写真

みんなのため新しいものをつくらうとしたんだ。

何度も挑戦して靴やガラス、レンガづくりに取り組んだんだな。

自分も人の役に立つものや未来のためのものをつくりたい。

資料：REGALの前身である櫻組や日本製靴株式会社 仮説1-②

当時の軍隊や外国からも多くの注文を受けていたんだ

当時の世の中の人々が良い靴をたくさん早く作ってほしかった。だから人材を育てたり、技術を得たりしてそれに応えようとしたんだ

今と取り組むことは違うのかな？ 西村勝三の想いが受け継がれている。

未来を感じさせるために過去を見せる

自分も人の役に立つ物や未来のための物を造りたい

資料：REGAL本社の記念館の館長F氏からのメール

質問への答え 仮説2-①

お客さんや世の中の人々のニーズに応える取り組みをしているんだ。

世の中のニーズに応えるためにこだわったり進化したりしているんだな。

昔からのこだわりを次の世代に引き継いでいるんだ。

世の中のニーズに対応するため技術を磨いたり、お客さんの要望に応えたりする靴造りを目指しているんだ。それがREGALのこだわりなんだ。

これからどう変わっていくのかな？

今の工業の課題：働く人口や若い人⇒減少 海外との協力が必要 持続可能な社会

思ったより解決すべき課題は多い

これは自分達のことかな？

今まで学習したことをもとに、今の工業が抱える課題と取り組みについて追及

仮説1-②

今と昔の共通点を

比較させる

環境についてこれからも取り組む ⇒自分達の社会のための取り組みになる

海外との関係や次の世代のための取り組みを行うなど、自分達のことだけを考えた発展でなく、これからも続く相手との関係を考えていくと思う

次の世代のための取り組み、次の世代のニーズに応える、⇒次の世代=自分達ががんばろう。という意識

自分のこととして考えていくことが大切!

海外とも協力したり、良い関係をつくったりしよう!

自分達ができることをやっぴこう!

KJ法やホワイトボードの活用で、教師の予想を飛び越えた!

課題を把握し解決に向けて自ら構想していく児童への変容

わかったことを絵でまとめる

仮説2-②

これからの工業は、今までのように社会からのニーズに応じていく。次の世代につながるための工夫やこだわりを取り組み、環境や世界とのつながりを考え、持続可能な社会に向けて問題を解決していく。そのためには自分達も工業について知ったり工業で働いたり、要望やニーズを出すなどできることをする。それは自分達子どももやるべきこと。

先人の敬・感謝  
「まとめる」につながる

【調べる】過去や現在の工業の共通点や相違点を調べる

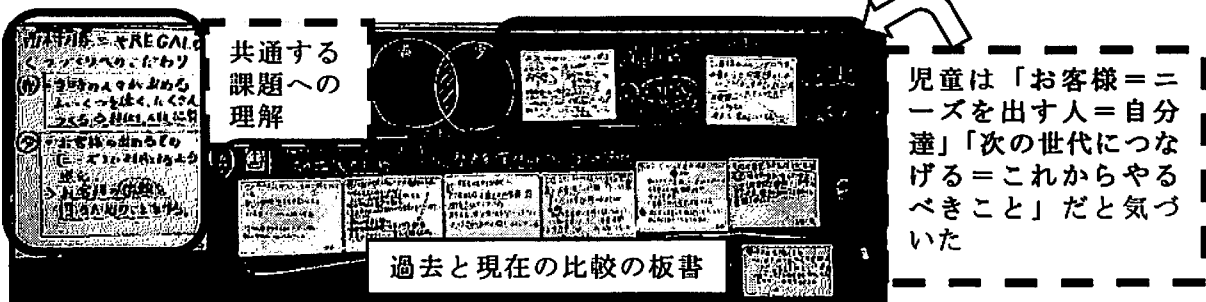
【まとめる】工業の課題を把握する。活用し、工業の課題を把握する。

【いかす】これからの工業について構想する





ーズに応える姿は変わらないことに気づき、時間を超えて共通する課題があることを理解することができた。(資料編6)



以上のことからこれからの工業も同じように社会からのニーズに対応することで発達していくことを考察できた。さらに児童はこの時点でこれからの工業を考える際に、どのようなニーズが求められているのかや、ニーズを考えていくのは自分達がやるべきだということ、それを次の世代につなげるといったことまでを考え、教師側が設定した仮説を飛び越え、考察することができた。授業後に「過去と現在の比較」という観点で、児童の意識調査を行い、その変容を捉えることができた。

項目	事前	事後	変容の見られた児童 (1)はA児 (2)はB児
(1)日本の工業が栄えた理由	3人 (8%)	35人 (100%)	事前高い技術がある。 事後高い技術を昔から取り入れる姿勢が現在にもつながっている。様々なニーズに応えることができるから発達した。
(2)昔の工業と今の工業はどんな関係があるか	0人 (0%)	19人 (77%)	事前昔のことはわからない。 事後今も昔もニーズに応えるために新しい技術を考えたり高い技術を保とうと努力したりして、ニーズに応え続けている。

### 【仮説2】

手立て① 質問やメールでのやり取りを通し、工業に関わる人々とのつながりを作る。

児童はFさんからいただいたメールをもとに、REGALの取り組みやこだわりの多くを知ることができた。児童はこのやりとりを通して、工業に関わる人々を身近に感じ、地に足がついた解決をしようとしていることに気づいた。「これからの工業について考える際にはニーズを考える必要がある」「そのニーズは自分達が考えていかなければならない」という意識をもった。児童の感想や振り返りからもわかる。

F様よりいただいたメール。REGALの取り組みやこだわりがこと細やかに記されている。

社外様の事項もありますのでご承知くださいませ。

①「REGALはお客様からの要望・ニーズにどのように対応しているのか」  
⇒直接の要望については、その部局専門部署の対応になります。  
例えば遠隔地からの希望の場合はより近い当社専門店舗、販売店舗をご紹介、及び店舗の連絡先などをお伝えしています。

②「どのようなニーズが求められているのか」  
⇒社外様の事項もあるので具体的には記しませんが新しい靴の企画に始まります。  
材料(皮革、布、釘、糸他10種類程度の材料が必要)選定、それらを調達するために海外の事業所や商社、国内企業と打合せ、それらが整った段階で製造工場を決め、ライン管理を検討します。  
同時に販売広告等の販促活動を専門部署、広告代理店と打合せ、発売前後に併せて広報します。

これらの内、材料、製造部門では環境に対する取り決めが為されます。例えば、多くの靴の材料である牛革を使えない方がいる市場や国では、他の皮革(山羊や豚など)を代わりに使う事もあります。

③「どのようにしてそれらの要望やニーズを知るのか」

⇒当社は116年(1902年創立)靴を作っていますが、昔も今も変わらないのは靴を履かれる方の全ての体重を支え、しかも歩くだけでなく様々な外的・内的圧迫を常時受ける過酷な環境に耐え安全に足を守る靴であるように努力しています。

その為には靴をただ作って売るだけでなく、様々な改善、販売員が顧客より受ける要望やお問い合わせ(インターネット、ファックス、電話等)を速やかに靴作りに反映させる仕組みを長い間培ってきました。当然今後もより良い靴作りをする為のそれらの努力を続けなければ成らないと全社員が努力しています。



児童Cの未来予想図で

「誰に向けた構想か」が不明瞭な未来予想図から

工業の課題を自らと関連したものにとらえ、自分に取り組みとすることについて考えることになった。「誰に向けた構想か」⇒次の世代へつなげる取り組み

事前

理由：自分達の視点から、次の世代へつなげるため

授業後に「これからの工業」という観点で、児童の意識調査を行い、その変容を考察した。

項目	事前	事後	変容の見られた児童 (1)C児 (2)D児
(1)これからの我が国の工業はどのように変わっていくか	3人 (8%)	35人 (100%)	事前 もっとすごいものを発明する。 事後 私達の社会のためや、これからも続く相手との関係のことを考え、より信頼されることを目指す。
(2)これからの我が国の工業と自分自身の関係について	19人 (54%)	35人 (100%)	事前 身の回りにたくさんの工業製品がある。 事後 将来自分達も関わっていくから、今の日本のこだわりなどを受け継いでいきたい。社会科で学習したことを役立てたい

現代と過去の工業について調べ、時間を超えて同じように課題を解決してきたことを知り、これからの工業について自分との関連をもとにして構想することができる児童が増えた。

## 10 成果と課題

### 〈成果〉

- 地域教材や他教科と関連させる活動、過去と現在の工業の共通点や相違点をもとに考えることで、課題が明確になり、自らを取り巻く社会が抱える課題について考察できるようになった。
- 学習協力者を活用したり、これからの工業の姿を構想する未来予想図を用いてまとめたりすることで、これからの我が国の工業についてより自らと結び付けて構想できるようになり、自らと社会との関わり方について考えることができた。

### 〈課題〉

- 児童の主体的な取り組みを生かし、「社会との関わり」においてさらに先へ進ませるための単元構成や指導法についての研究が必要である。
- 学んだことを再提案したり、知識のアウトプット化をしたりすることができなかった。

当事者意識をもって課題について考察し、  
解決に向けて自ら構想していく力を養う社会科学習の在り方  
～第5学年の工業学習における西村勝三の靴造りを通して～

# 資料編

資料1 子どもの変容 意識調査より

P 1～3

資料2 REGALの導入や道徳教材「西村勝三」の授業後のふり返りの様子

P 3～6

資料3 「これからの工業の姿」の絵…導入時に描いたものと、最後のまとめに描いたもの

P 6～P 9

資料4 授業の後に記載した「学習頑張りカード」のわかったことや感想について

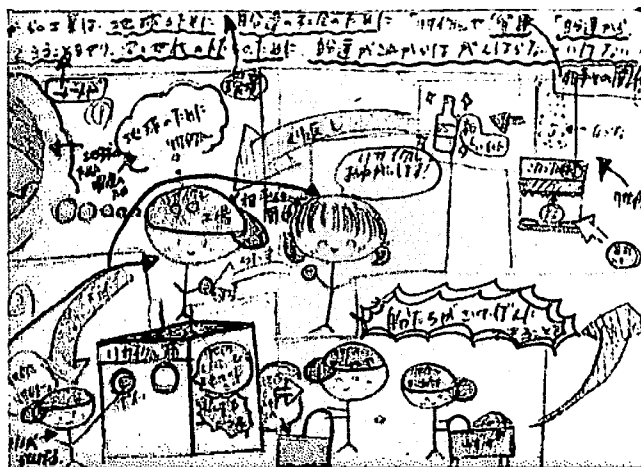
P 10～P 12

資料5 「これからの工業について」学習前に実施したアンケートから学習後に実施したアンケートの内容の変容

P 12～P 16

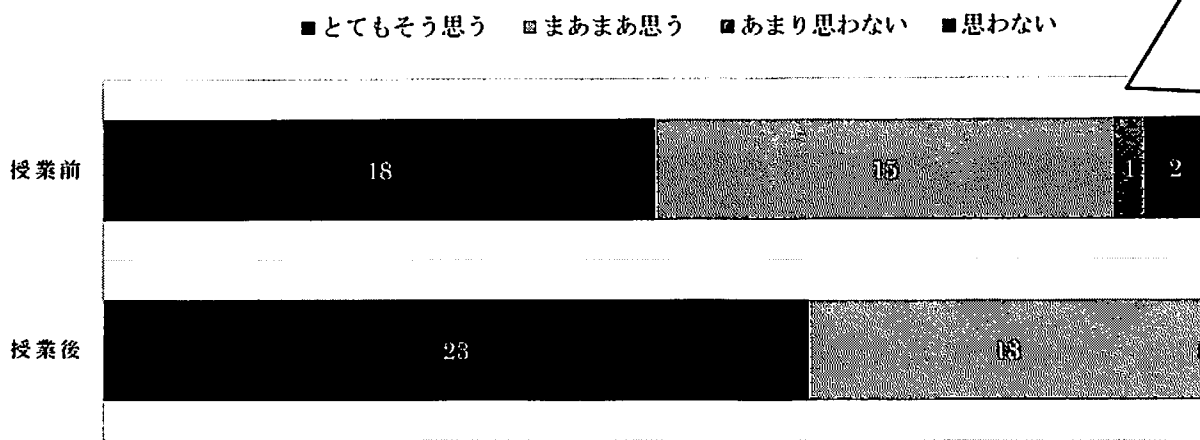
資料6 授業の板書

P 16～P 16



資料1 子どもの変容 意識調査より

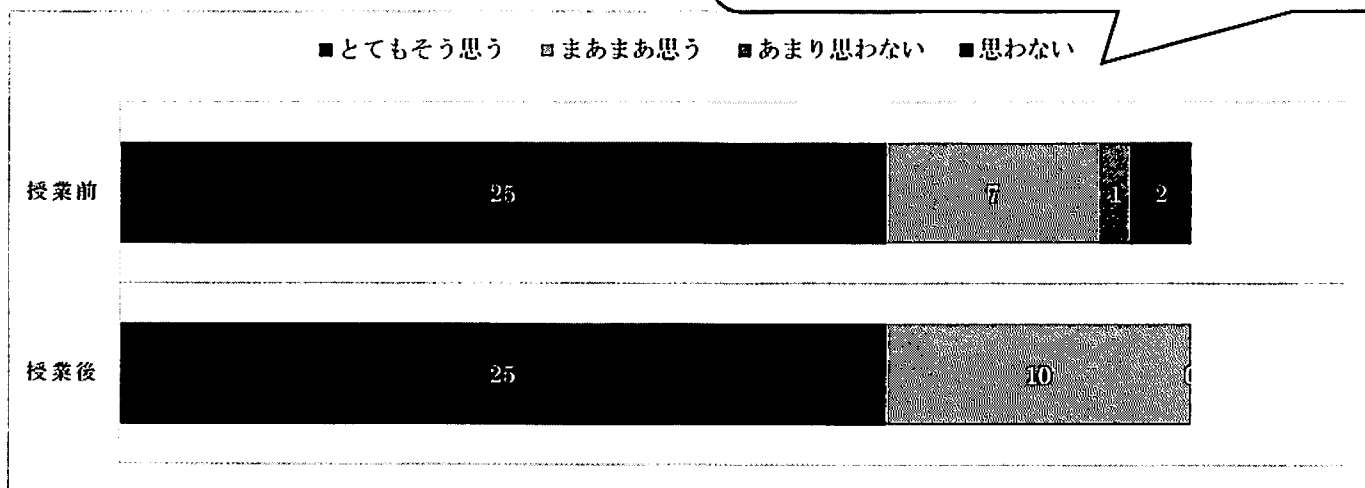
1 社会科の学習を楽しんでいると感じる。



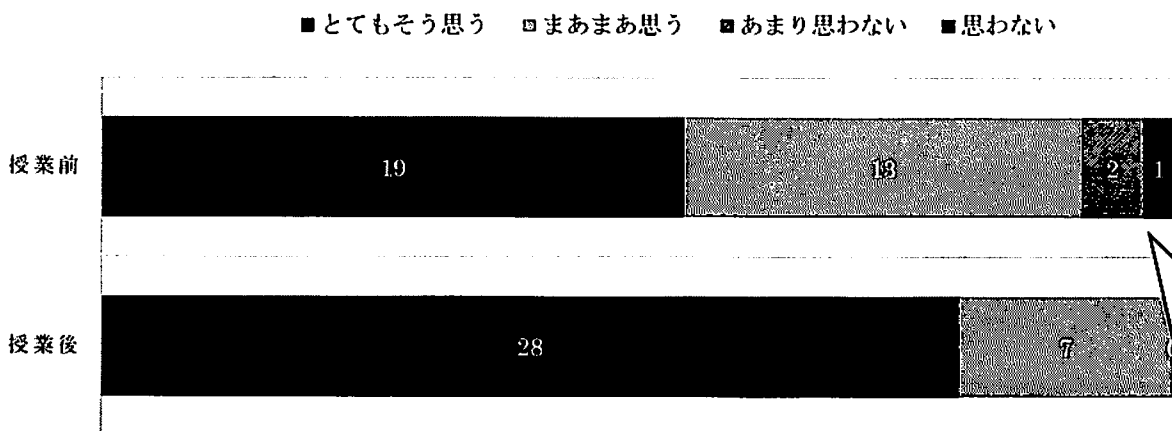
あまり思わない、思わないという児童がいなくなり、全員が社会科の学習に興味関心をもてるようになった

2 社会科の調べ学習が楽しいと感じる。

あまり思わない、思わないという児童がいなくなり、全員が社会科の学習に興味関心をもてるようになった



3 社会科の工業の学習（日本の工業地帯や製鉄業など）が楽しいと感じる

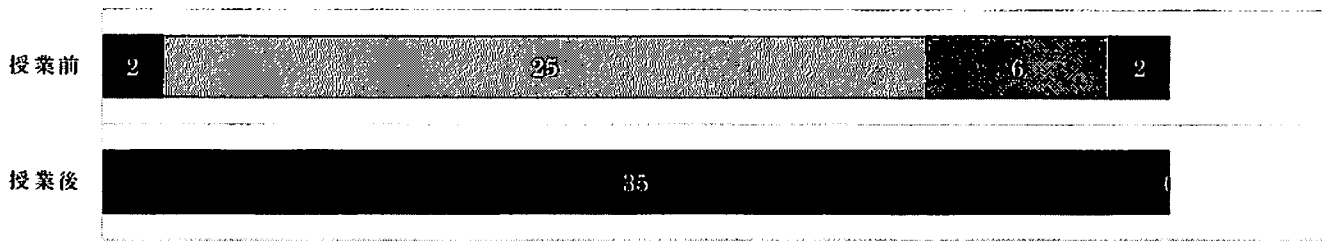


あまり思わない、思わないという児童がいなくなり、全員が社会科の学習に興味関心をもてるようになった

全員が具体的な理由を述べる  
ことが出来るようになった

#### 4 日本の工業がここまで栄えたのはどうしてだろうか

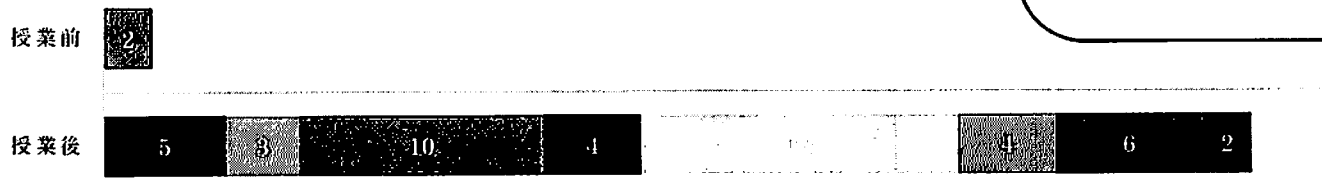
■具体例が記されている □具体例が記されていない(努力した、信頼されたなど) ■知らない・わからない ■無回答



#### 5 日本の工業が栄えた理由 (複数回答あり)

- 伝統を引き継ぎ、進化した
- 海外と貿易や技術などで協力した
- 工夫や努力を重ね、優れた製品づくりをめざした
- 世の中のニーズに対応したものをつくってきた
- 昔から今まで高い技術を取り入れてきた
- 大学設立や職人を育てるなど人材の育成に取り組んだ
- 次の世代のことを考えて取り組んだ
- お客様や世の中の人々からの信頼にこたえようとした

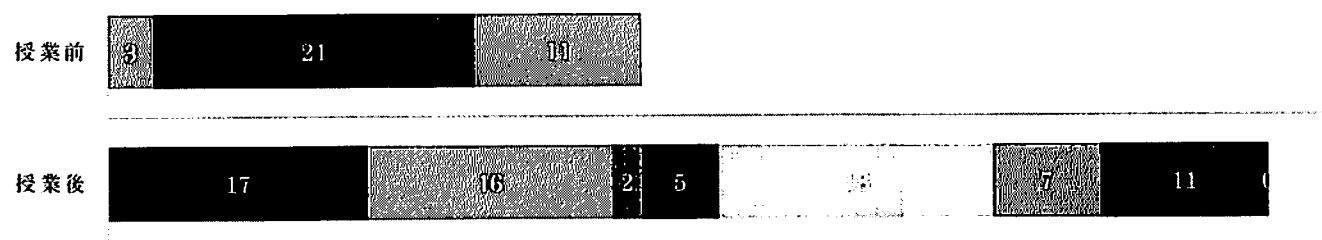
全員が授業前と比べ、具体的な理由を述べる事が出来るようになった。  
今の工業の取り組みと課題について考えることができるようになった。



#### 6 これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか (複数回答あり)

- お客様のためだけでなく、自分達の社会や地球ための取り組みをする
- 環境への取り組みに力を入れる
- AIを取り入れてより良いものをつくる
- より新しく高い技術を取り入れていく
- 時代が求める製品を作っていく
- 海外との関係も考えていくようになる
- 次の世代のための取り組みをする
- 具体策なし (がんばる、空飛ぶ車ができるなど)
- わからない・無回答

全員が授業前と比べ、具体的な理由を述べる事が出来るようになった。今の工業の課題と比べて考えることができるようになった。





「西村勝三」の道德の授業後の感想

西村勝三とは


明治の啓蒙思想家である西村茂樹の弟である。茂樹は道德教育の推進のために明六社を興し、日本人のものの考え方のあるべき姿を示した。弟の勝三は、製靴業に携わり、産業面から日本の将来を考えた人物である。勝三は、佐久間象山に西洋砲術を学び、佐野藩（佐倉藩支藩）で藩士に砲術師範をするなど、若いころより軍事面で活躍した。しかし勝三は、「藩や日本のためにもっと役に立つ仕事がしたい。」という理由で藩を脱藩し、武士を捨て商人の道に入る。西洋の進んだ文明を知った勝三は、鉄砲をはじめ、洋服から銅、鉄まで何でも商い、明治維新後、政府の大村益次郎の要請を受け、製靴業に取り組むことになる。この製靴業は、佐倉藩士であった大塚岩次郎等に受け継がれ、現在もその名を知られる「大塚製靴」「リーガルコーポレーション」などの会社として発展していった。「明治日本の工業の父」とも呼ばれる人物であり、我が国の工業に大きな影響を与えている。

「西村勝三」の道德の授業後の感想

あなた西村勝三の話を聞いて、どんなことを感じましたか。

何回も失敗してもめげずに続け、特長を比べたり、くらうをいかして進む道も自覚つけた勝三さん。人は、何事もうつまつ、根がぬねれば、成功すること実感しました。また何回も失敗すること、ひ成功に一步近づいた人だなと思えました。


自分でも身の回りや課外に最後まで取り組み、その役に立つものも作りたいと思えます。



あなた西村勝三の話を聞いて、どんなことを感じましたか。

靴やレンガにガラスをフムを作リ、今も親しまれているものが、西村勝三さんの身によって作られたというのはすごいと思えました。

勝三さんの世のため努力を、積極的にとりくんでくれたから、今の日本人が豊かになり、生きてるので、とても感謝しています。僕も同じく未来が豊かになるように、働いていきたいと思えます。



西村勝三のように、自分も世の中の役に立ちたい、なにか協力したい、という意識が生まれた


あなた西村勝三の話を聞いて、どんなことを感じましたか。

大村益次郎さんの「たのみ書」を作ったを任された、色んな事を悩み失敗してもめげずに、西村勝三さんがおこしと思いましたが、今ではその偉大な功績を誇り、大塚岩次郎の石像として残されています。大塚岩次郎さんは、勝三さんの靴を東京に売りに出したことも印象的でした。世の為人の為、という言葉は、感動しました。勝三さんは、現在も社会に大きく貢献しています。



あなた西村勝三の話を聞いて、どんなことを感じましたか。

西村さんは、「進取」「専攻」をもち、積極的に好奇心を持ち、靴づくりに没頭して、すごいと思いました。環境がいい家庭に生まれたのもかわりなく、自分が好きな事に向かえば、コツコツと努力して、心が強い人だと思えました。また、明治の工業の父、と尊敬されていました。私も、勝三さんをお手本として、自分も、靴づくりに没頭して、世のため、人のため、社会のために貢献したいです。



西村勝三の理念や功績が、現在の世の中にも受け継がれている、役立っているという気づき



あなたは西村勝三の話を聞いて、どんなことを感じましたか。

ぼくは西村勝三さんはすごいと思  
ました。理由は西村勝三は矢  
敗に次ぐ矢敗の連続だった  
けれど、世のため、人のために  
と思、てや、たんだな、と思  
ました。あと、この西村勝三さん  
はず、と、つをつくり続けて  
高熱に負けぬ耐久煉瓦の製  
造に取り組み完成さ  
せるというところか  
す、こいと思、ました。



あなたは西村勝三の話を聞いて、どんなことを感じましたか。

西村勝三さんは最初には金をとめて  
して、どうなるのかと思、ましたか  
ほ、の、果て成功してつづけるのだけで  
大変なのに、レンガを作り、東京、駅までの  
レンガを使ったり、ガラスがとまえてくれ  
て、勝三さんがこうい、う、こと、も、し、て、  
れて、い、なか、た、ら、も、と、日、本、は、外、人、に  
た、と思、います、それ、に、明、治、二、十、年、の  
分、と、言、わ、れ、る、人、か、佐、倉、の、で、つ、う、  
ま、れ、た、と、い、う、こ、と、を  
知、り、す、こ、う、い、れ、し  
か、た、で、す。



「世のため、人のため」という理念が工業を発展させ、暮らしを支えてきたことへの気づき

あなたは西村勝三の話を聞いて、どんなことを感じましたか。

世のため、人のためにがんばった人でも、  
成功より失敗の方が多いということ、成功の  
ためにいろいろ仕事に専ら集中して、こいと思、い  
ました。また、佐倉市に、全国で、ゆ、の、め  
いな人かいたんだなと思、います。また  
佐倉市について、西村勝三さんについて  
知らない事かたくさん聞、きたいと  
思、いました。



あなたは西村勝三の話を聞いて、どんなことを感じましたか。

私は西村勝三さんの話を聞いて、すごい  
人だ、と、思、い、ま、す。でも、西村勝三  
さんは、や、れ、ば、私、は、成、功、し、り、も、失、敗、し、て、下、で、  
居、ん、だ、と、い、う、こ、と、を、聞、いて、  
すごい、は、い、い、ば、い、失、敗、し、て、失、敗、し、て、成、功  
し、て、い、く、こ、と、が、大、事、だ、と、思、い、ま、す。下、  
で、い、く、こ、と、が、大、事、だ、と、思、い、ま、す。



あなたは西村勝三の話を聞いて、どんなことを感じましたか。

ぼくは話を聞いて失敗して、失敗しても  
あきらめないということかとても大切が事だと  
分かりました。そして西村勝三さんか流、つ、こ、り、  
と、作、り、が、ラ、ス、ト、の、作、り、と、し、て、い、ま、り、は、日、本  
は、成、立、て、い、ま、か、と、思、い、ま、す。



あなたは西村勝三の話を聞いて、どんなことを感じましたか。

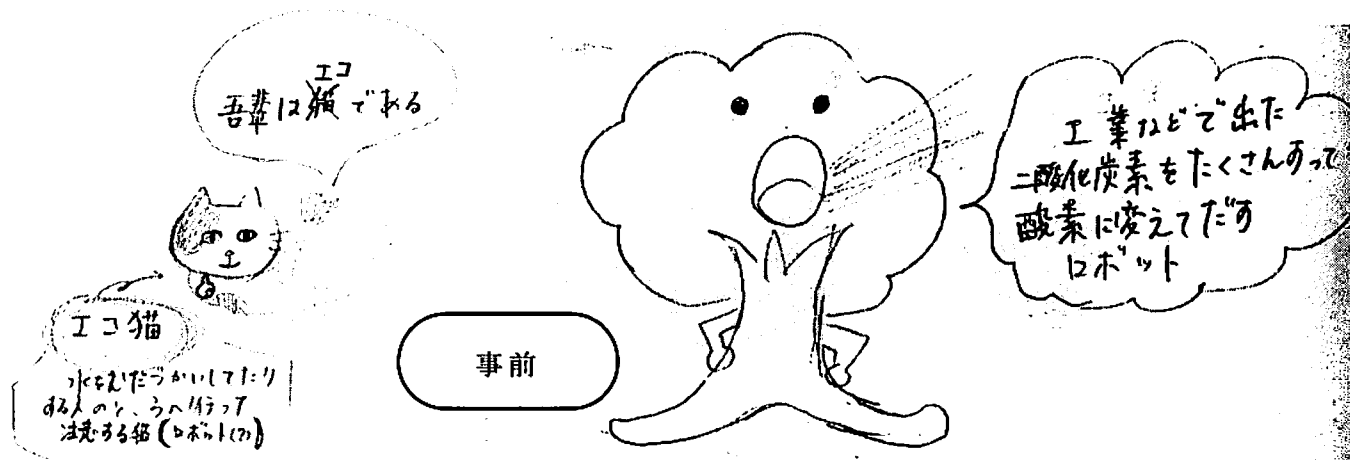
私を作るときに失敗を何回もし  
たけれど、お金がなくなっても作り続  
けて、や、と、成、功、し、た、西、村、さ、ん、の、話、を  
聞、いて、あ、き、ら、め、な、い、こ、と、が、失、敗、か、ら、ま  
は、い、事、が、大、切、だ、と、わ、か、り、ま、し、た  
また、失敗する事が少くても地、の  
ガラスビンやレンガを、びん、びん  
新、ら、しく、作、り、て、い、く、の、か、す、こ  
い、な、と、思、い、ま、し  
た。



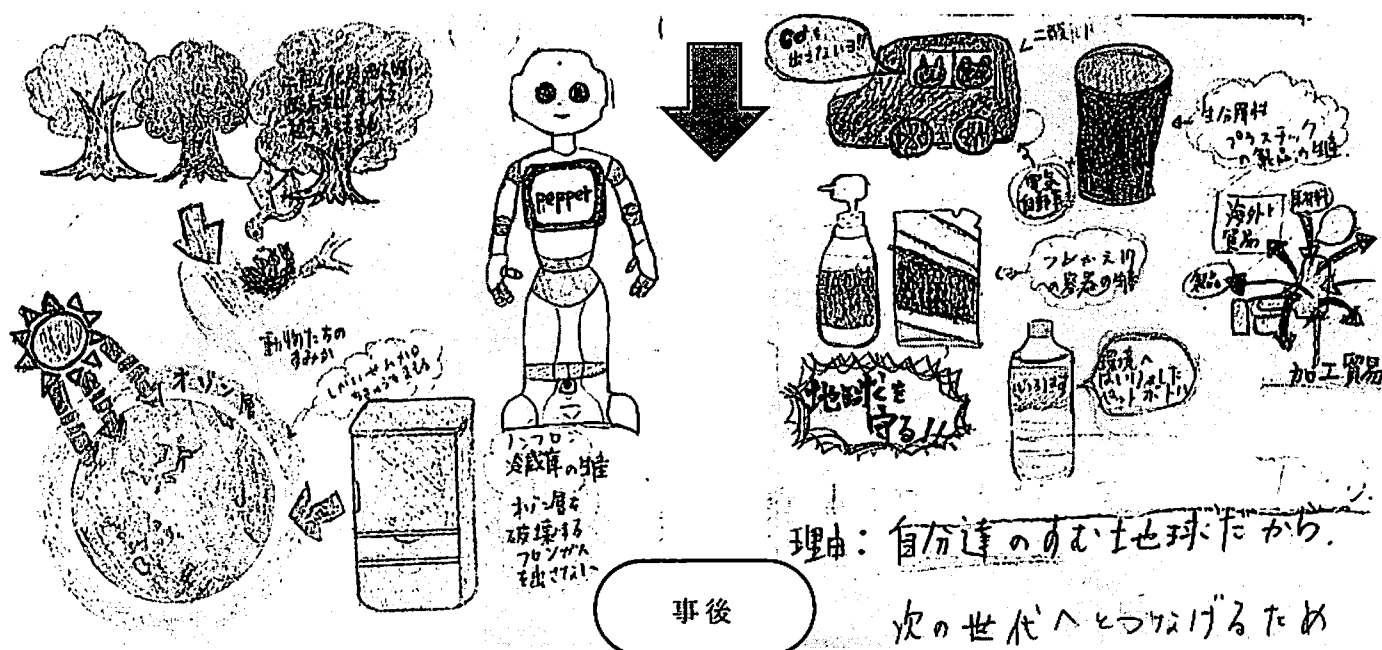
製造へのこだわりと工夫、努力が工業を発展させ、暮らしを支えてきたことへの気づき

西村勝三の功績を知ったり、歴史認識を深めたりすることで工業への興味関心を高めたり、今の工業につながっていることを理解したりすることができた。また課題を自分ごととして捉えることの大切さや難しさを感じる事ができた。

資料3 「これからの工業の姿」 未来予想図…導入時と、最後のまとめに描いたもの  
 ⇒導入時に想像して描いた「これからの工業の姿」についてと、最後のまとめのときに既習事項をもとに描いた「これからの工業の姿」についての未来予想図を比べた。

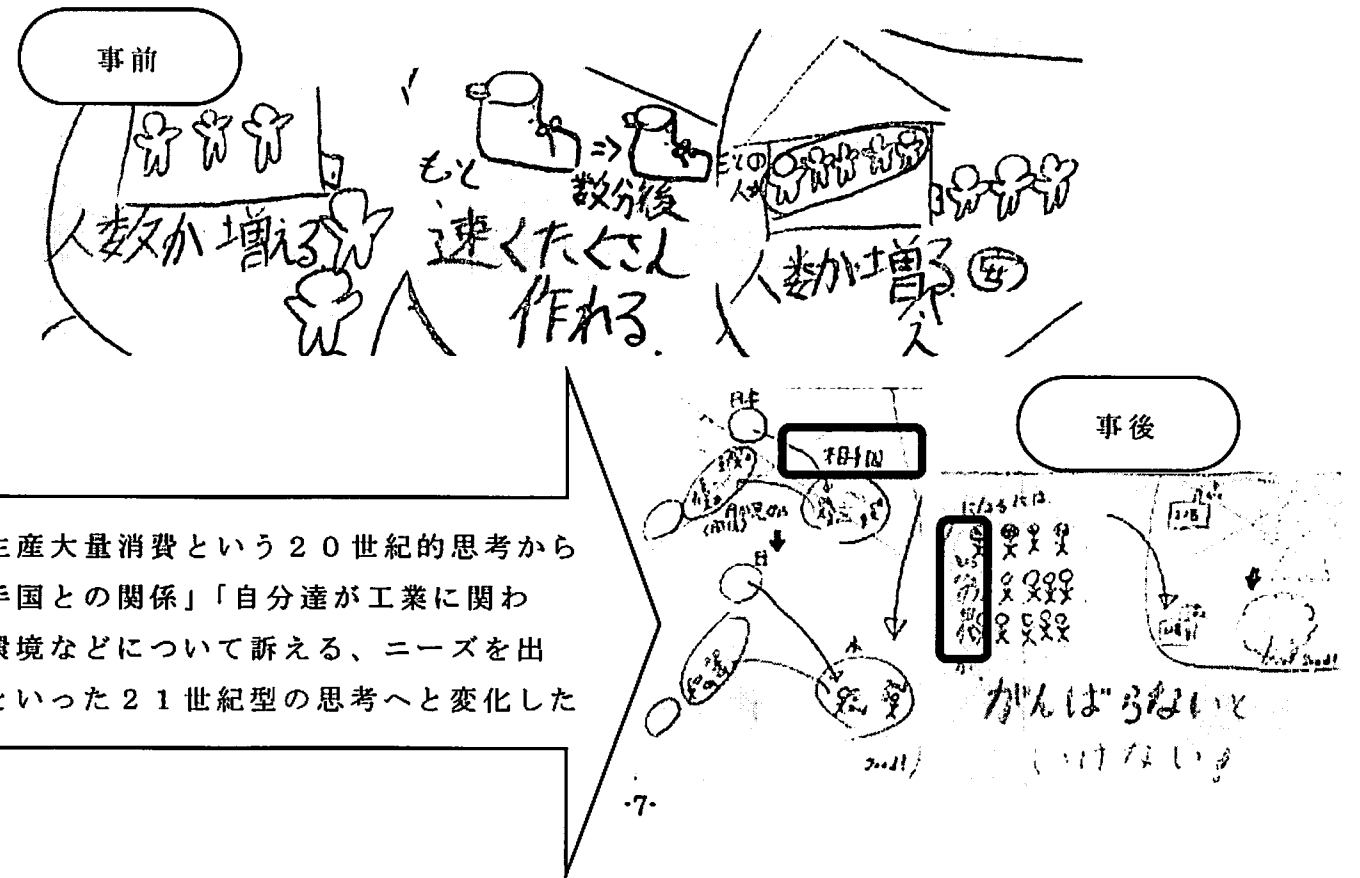
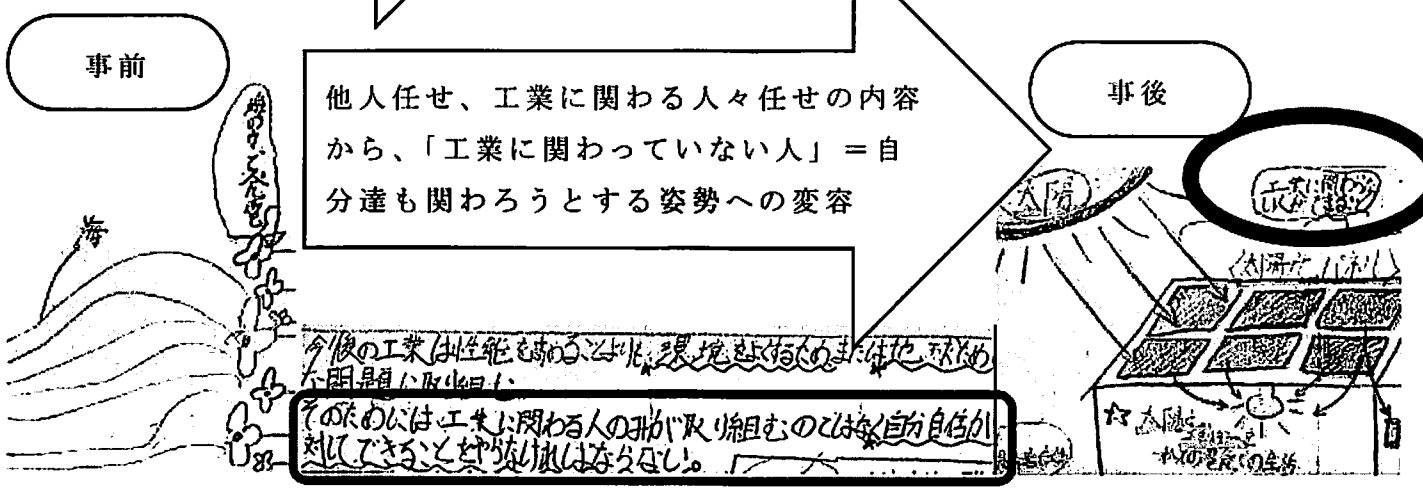
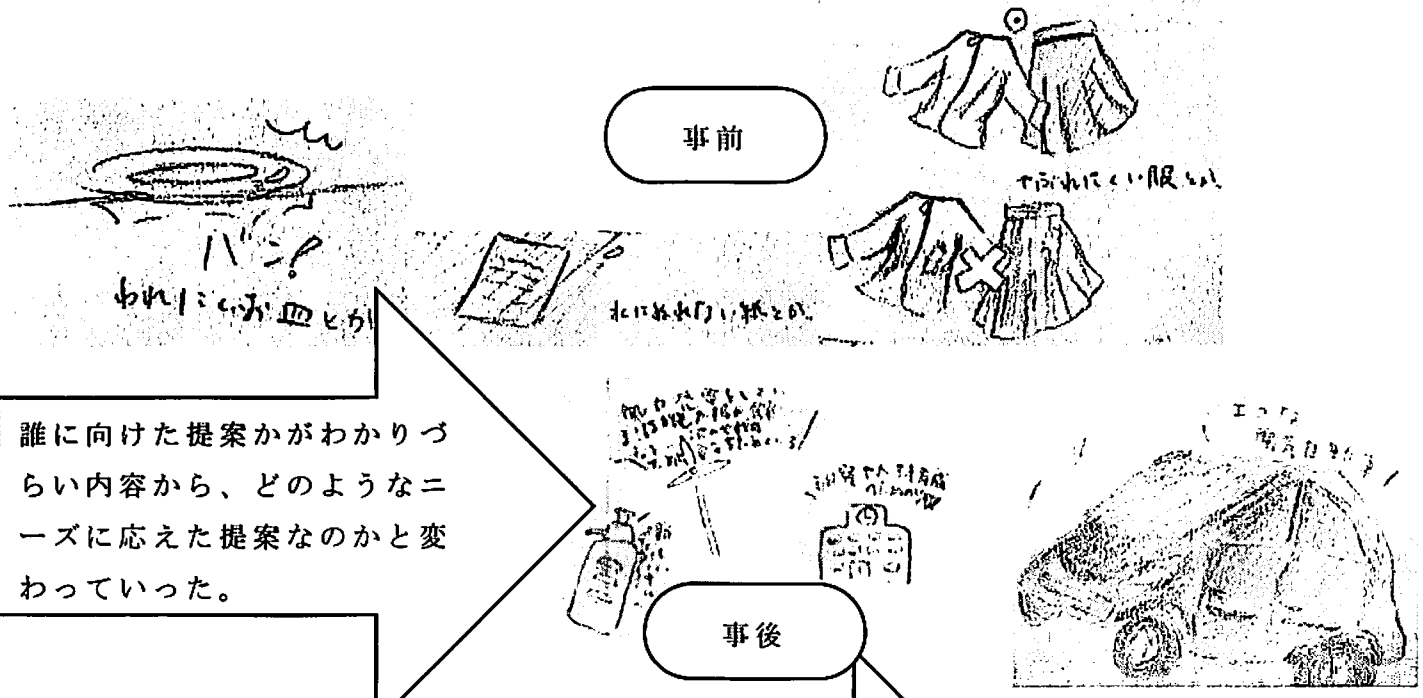


このような「これからの工業の姿」を描いていた児童F



これからの工業は、環境への取り組みに力を入れていく。  
 それは、自分達の暮らす地球のためであり、工業にまかせるのではなく  
自分自身が取り組んでいくこと。(リサイクルなど 3R)  
 他にも人手不足の解消のため、人工知能が増えたり、海外との関係  
保つため加工貿易や海外進出が増えていく。 (これを次の世代へとつなげる)

これからの工業の姿について現在の工業の課題を把握し、ニーズをもとに考えることができるようになった。「誰に向けた構想か」を考え、工業の課題を自らと関連したものにとらえ、自分にできることや取り組めることについても考えることができるようになった。  
 ⇒自ら問いをみだし、解決を行う「深い学び」につながっている。

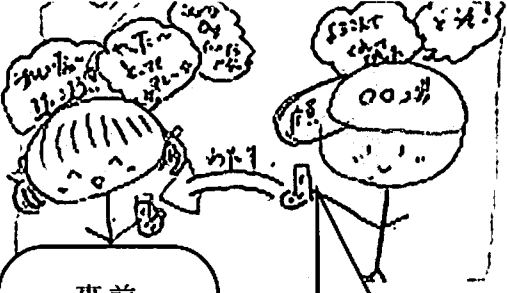
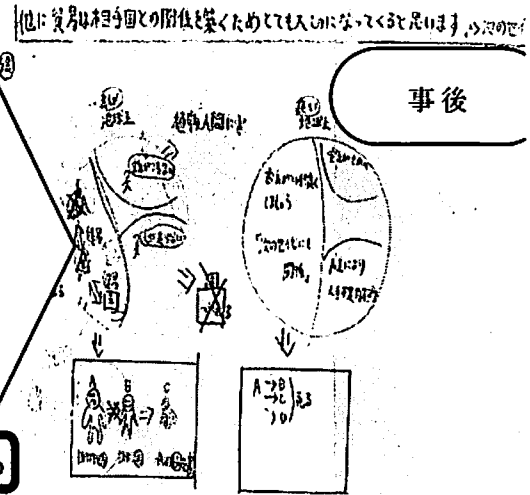


事前

事後

抽象的な工業製品の発展の姿（風で動く車）から、相手国との関係や環境問題、自分達の社会のための発展という地に足がついた未来像への変容

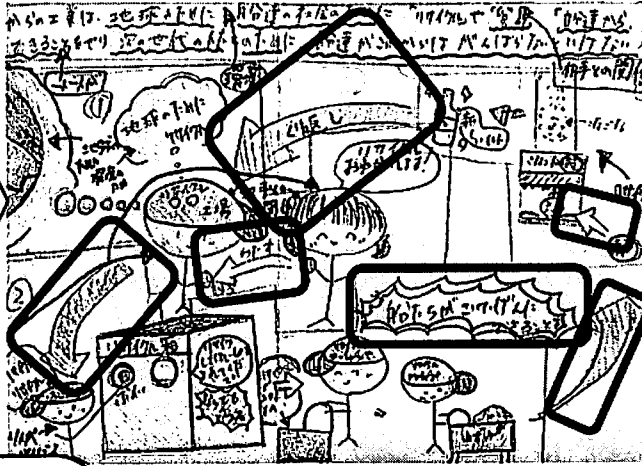
更に技術を高めていくと思います。⇒自分達の社会のため



事前

これからの工業が取り組むと考へたりサイクル・省エネについても、以前は工業側から一方的に提供されるものという意識であった。  
←工業側がリサイクル・省エネに取り組み、それを消費者側が受け取る、という構図

矢印の向きの変化。工業側からの取り組みだけでなく、自分達側からの取り組みが見られるようになった。  
点線部に記載。



理由: 1) 2)

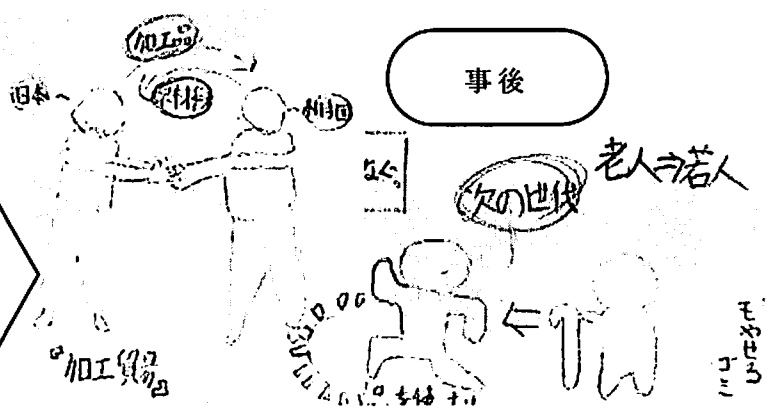
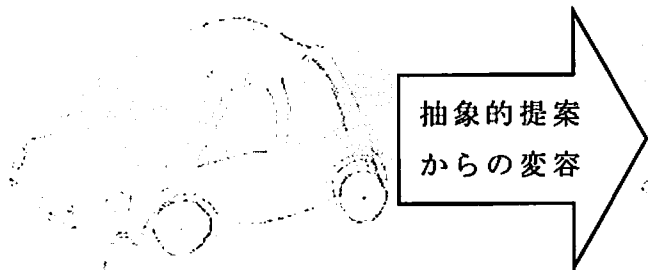
エネ(省エネ)の  
 方向に  
 傾いておられる  
 方が、それだけ  
 環境に優しい  
 社会になる  
 と思います。

事後

事前

事後

抽象的提案  
からの変容



①、休からの工業は地球のために環境を大切に自分達からいできることをする。そして次の世代につなぐ。相手国と対良な関係を築く。

車の絵（おそらく自動車産業が何かしら開発するだろうという意識）から、自分たち一人一人が取り組むべきこと、相手国との関係を重視することへの気づき。



資料4 授業の後に記載した「学習頑張りカード」のわかったことや感想について

(REGALの取り組み)

(西村勝三との関わり)

お客様の信頼を得るために、上のようなことはいい工夫をしていることがわかりました。お客様のために、いろいろなこと(サービスなど)を進化させている事がわかりました。

REGALには「これだけいいものを持っていることがイヤだよ」  
 ※元からお客様の業の歴史を提供すること。  
 ※REGALでは西村勝三さんが関係している。

(REGALの前身である櫻組や日本製靴株式会社の取り組み)

○博覧会 → いい靴が出てくる。  
 ○桜組の靴も → そのころから何かしらこだわりがあった。  
 ○広告を出す工夫

ロシア政府にまで「桜組のいい靴」という情報がいくつあって、当時のことからは考えられなかった。いい靴にこだわらうかと思つた。また、ロシア政府の人から桜組の靴をもらった人達の評判はどうだったのだろうか。

注が間に合わなかったという人な失敗をしてからお客様に満足してほしいと思っ持ちかまっていたのを、いろいろ考えた

外国から注文を受けるほど人気だった。

(今と昔の工業の取り組みを比べて)

今のREGALは昔のREGALとはちがって、お客様の信頼を受けるためにいろいろな取り組みをしている

今のREGALは昔のREGALの取り組みと比べて、いいことばかりと昔と比べて新設のことに取り組んでいる。⑤はやはりサービス重視、他の商品

今のREGALの工夫と昔のREGALの工夫、どちらと比べて比べるとか比較...

くつを直す会社 変わらぬ努力している!!

○お客様の信頼を得るためのこと  
 ○ニーズに対応  
 ○進化している。

お客様に安全と安心、高い信頼を得る企業

昔人々がそれだけよくつて速くたくさんつくる。→技術、人材、品質。

今「ニーズ」に対応するよう進化。→お客様からの信頼を得るためのこと

今と昔を比べることで、取り組んだことが違っても、それは社会から求められたものに対応しようとしている姿だということに気づくことができた。

今のREGALと昔のREGALの「これだけいいものを持っていること」が違っていた。  
 ニーズ...  
 修理、お直し、素材...  
 海外自由...  
 ニーズ...

今のREGALの「これだけいいものを持っていること」が違っていた。  
 お客様への信頼  
 進化  
 ニーズ(修理は...)  
 安全  
 安心  
 今のREGALの「これだけいいものを持っていること」が違っていた。  
 今と昔のREGALの「これだけいいものを持っていること」が違っていた。  
 ③と同じで④は...



10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業はこれから盛んになっていく。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業は新しい技術や設備で進んでいく。



9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、空想したことをもとに書いてみよう。	2025年の日本の工業は、AIやロボットが中心になる。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、空想したことをもとに書いてみよう。	2025年の日本の工業は、AIやロボットが中心になる。

10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業はこれから盛んになっていく。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業はこれから盛んになっていく。
8	西村三三三さんなどの工業と、JFBやREGALなど今の工業とはどんな関係があるのか空想したことをもとに書いてみよう。	西村三三三さんなどの工業と、JFBやREGALなど今の工業とはどんな関係があるのか空想したことをもとに書いてみよう。
9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、空想したことをもとに書いてみよう。	2025年の日本の工業は、AIやロボットが中心になる。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、空想したことをもとに書いてみよう。	2025年の日本の工業は、AIやロボットが中心になる。

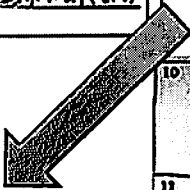


10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業はこれから盛んになっていく。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業はこれから盛んになっていく。



9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、空想したことをもとに書いてみよう。	2025年の日本の工業は、AIやロボットが中心になる。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、空想したことをもとに書いてみよう。	2025年の日本の工業は、AIやロボットが中心になる。

7	日本の工業がどうなるか、空想したことをもとに書いてみよう。	日本の工業がどうなるか、空想したことをもとに書いてみよう。
8	REGALという会社を知っていますか、また、どんな会社でしょうか(予想を)。	REGALという会社を知っていますか、また、どんな会社でしょうか(予想を)。
9	西村三三三さんという人が聞かれていますか、この人を知っていますか、また、知った人であれば、その人について書いてみよう。	西村三三三さんという人が聞かれていますか、この人を知っていますか、また、知った人であれば、その人について書いてみよう。
10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業はこれから盛んになっていく。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業はこれから盛んになっていく。



7	日本の工業がどうなるか、空想したことをもとに書いてみよう。	日本の工業がどうなるか、空想したことをもとに書いてみよう。
8	西村三三三さんなどの工業と、JFBやREGALなど今の工業とはどんな関係があるのか空想したことをもとに書いてみよう。	西村三三三さんなどの工業と、JFBやREGALなど今の工業とはどんな関係があるのか空想したことをもとに書いてみよう。
9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、空想したことをもとに書いてみよう。	2025年の日本の工業は、AIやロボットが中心になる。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、空想したことをもとに書いてみよう。	2025年の日本の工業は、AIやロボットが中心になる。

10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業はこれから盛んになっていく。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業はこれから盛んになっていく。



9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、空想したことをもとに書いてみよう。	REGALは人々の生活を豊かにするために存在する。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、空想したことをもとに書いてみよう。	REGALの存在は、人々の生活を豊かにするために存在する。

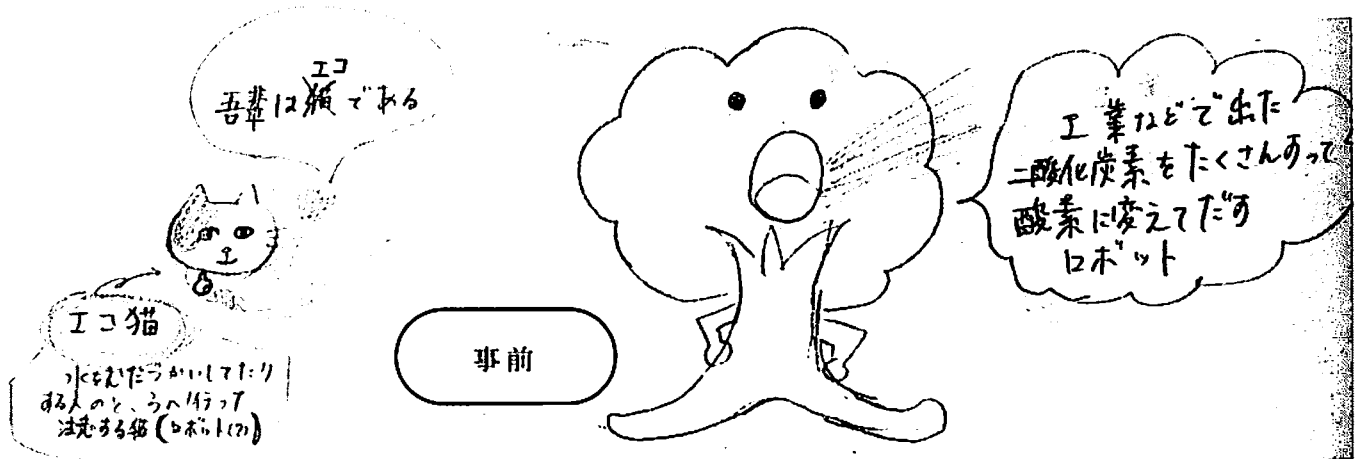
工業はこれからも栄える、という他人事としての意識、抽象的な視点から、人の役に立ちたい、工業の人びとに任せるだけではなく自分達で出来ることを考えて実践していく必要があることへの気づき



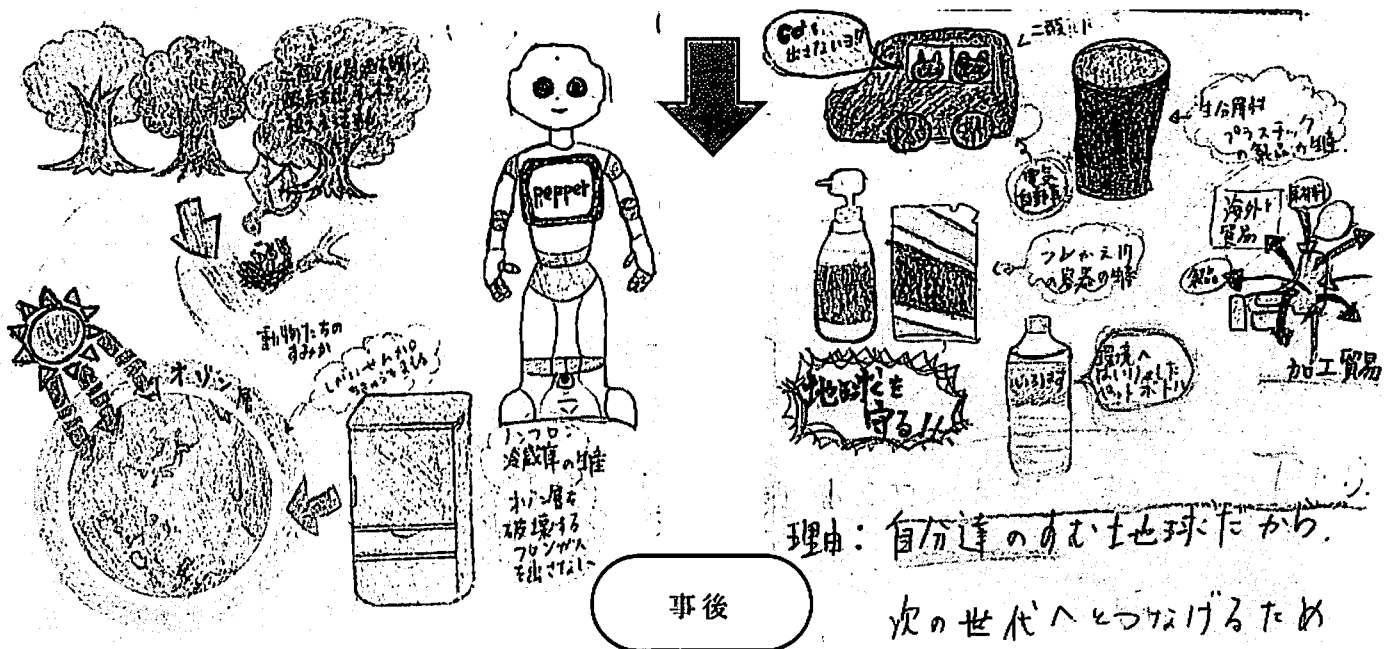


資料3 「これからの工業の姿」 未来予想図…導入時と、最後のまとめに描いたもの

⇒導入時に想像して描いた「これからの工業の姿」についてと、最後のまとめのときに既習事項をもとに描いた「これからの工業の姿」についての未来予想図を比べた。

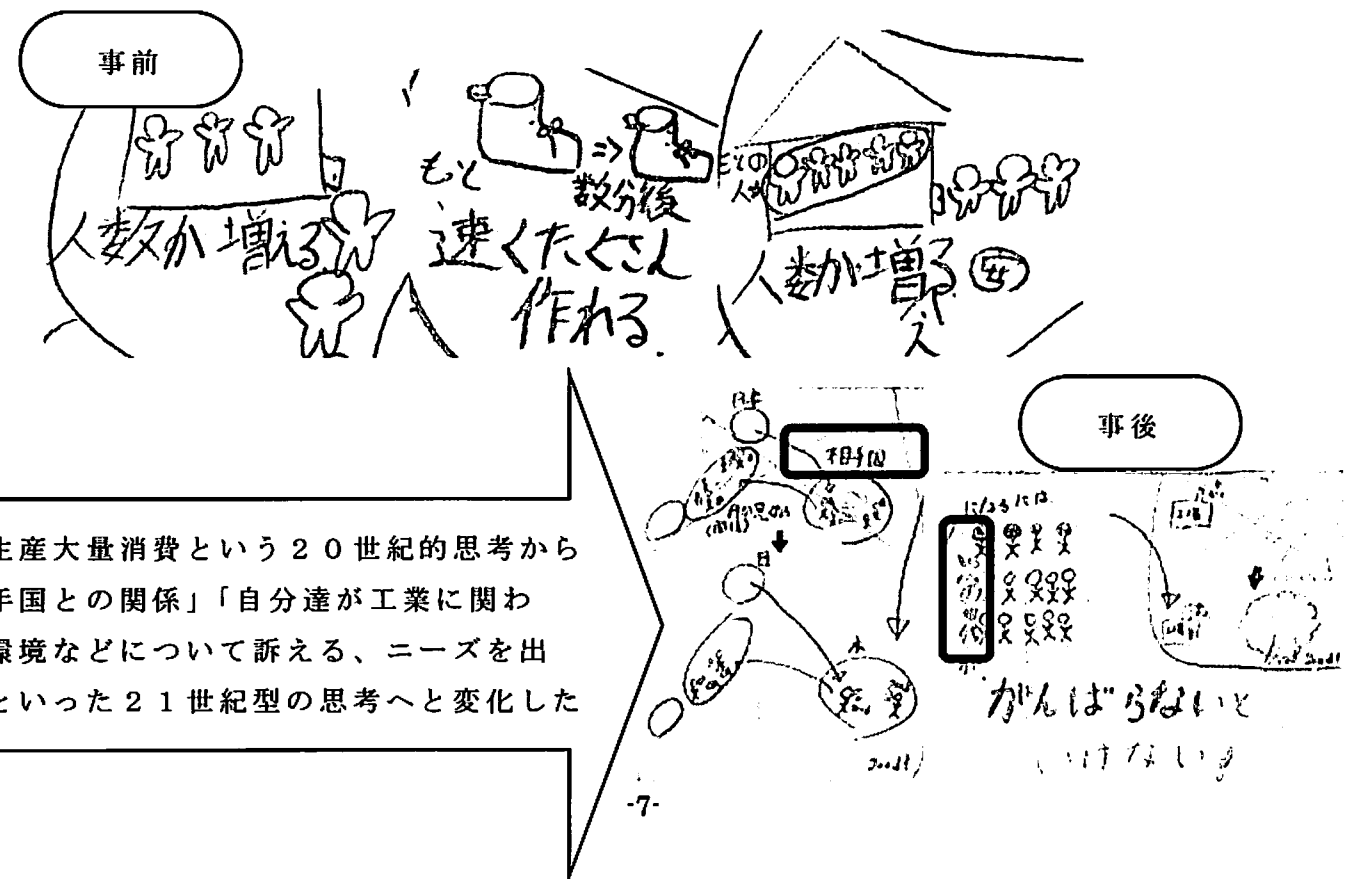
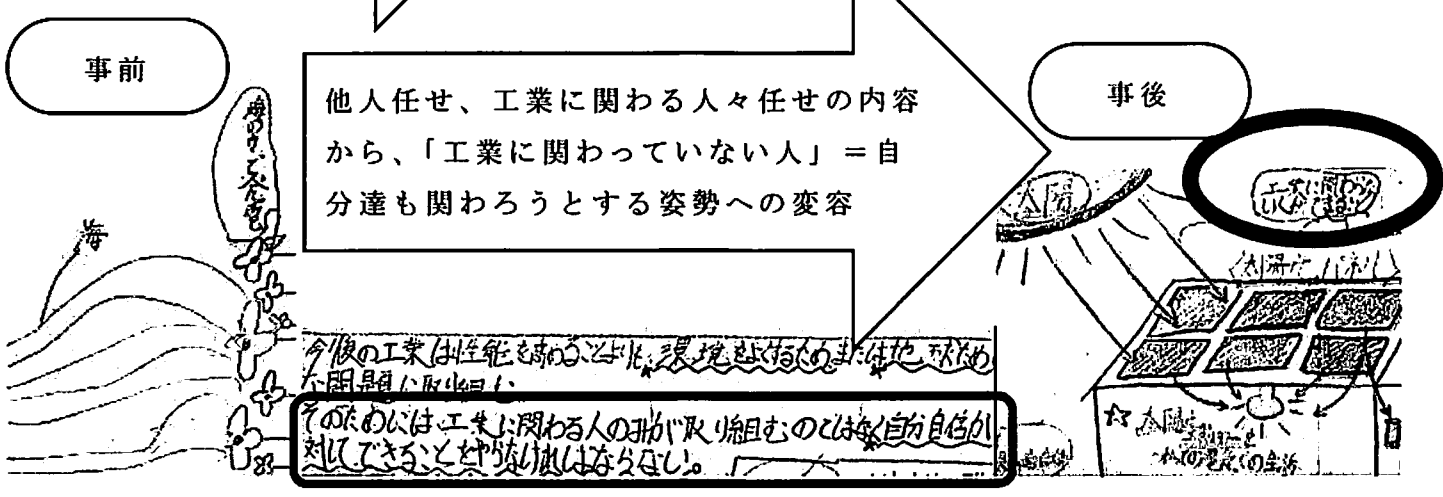
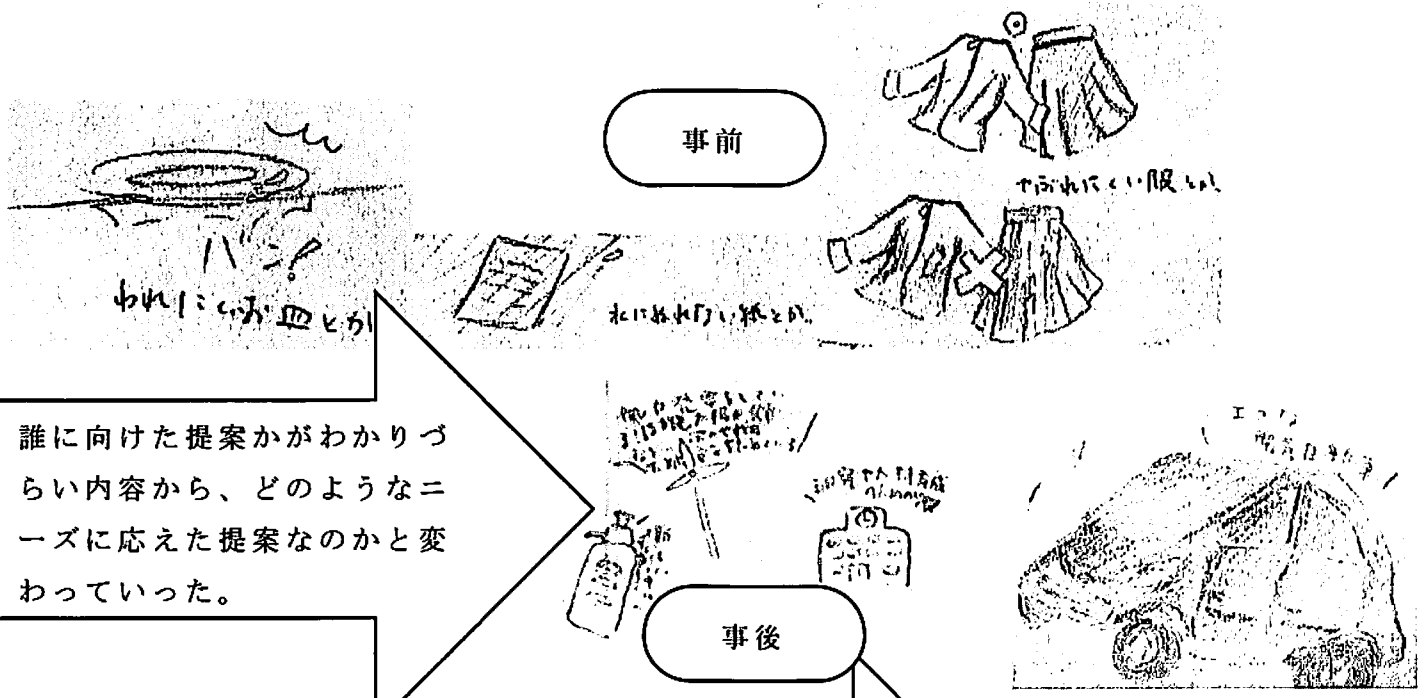


このような「これからの工業の姿」を描いていた児童F



「これからの工業は、環境への取り組みに力を入れていく。それは、自分達のめむ地球のためであり、工業にまかせるのではなく、自分が取組みしていくこと。(リサイクルなど 3R) 他にも人手不足の解消のため、人工知能が増えたり、海外との関係を保つため加工貿易や海外進出が増えていく。(これを次の世代へとつなげる)」

これからの工業の姿について現在の工業の課題を把握し、ニーズをもとに考えることができるようになった。「誰に向けた構想か」を考え、工業の課題を自らと関連したものにとらえ、自分にできることや取り組めることについても考えることができるようになった。⇒自ら問いをみだし、解決を行う「深い学び」につながっている。



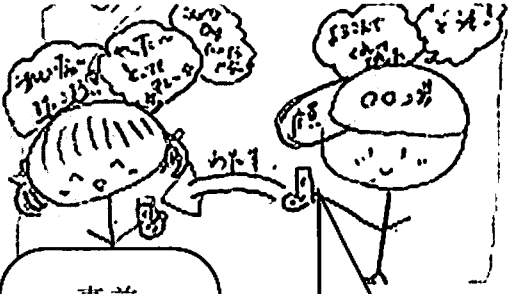
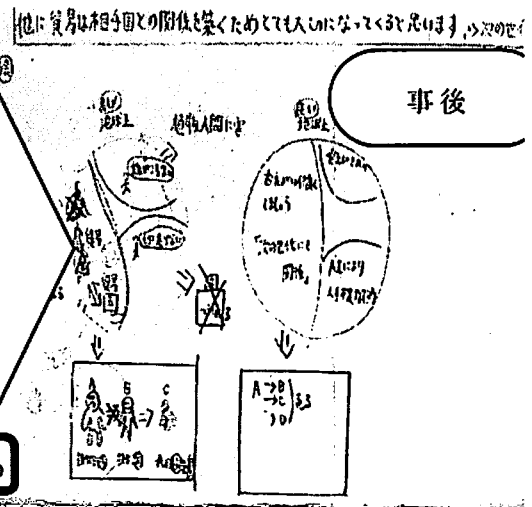
大量生産大量消費という20世紀的思考から「相手国との関係」「自分達が工業に関わり、環境などについて訴える、ニーズを出す」といった21世紀型の思考へと変化した

事前

事後

抽象的な工業製品の発展の姿（風で動く車）から、相手国との関係や環境問題、自分達の社会のための発展という地に足がついた未来像への変容

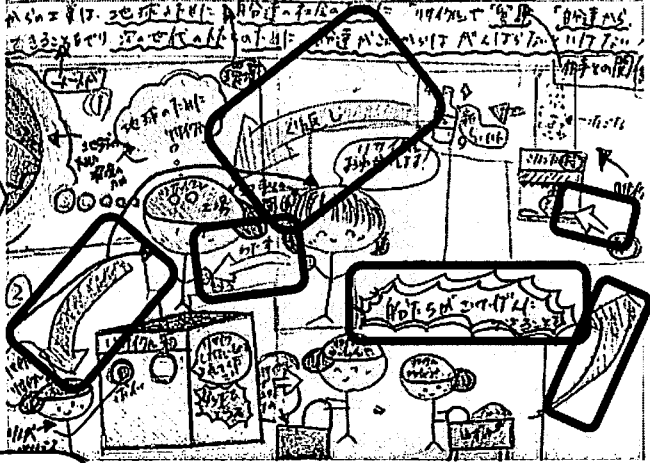
更に技術を高めていくと思います。→自分達の社会のため



事前

これからの工業が取り組むと考へたりサイクル・省エネについても、以前は工業側から一方的に提供されるものという意識であった。  
←工業側がリサイクル・省エネに取り組み、それを消費者側が受け取る、という構図

矢印の向きの変化。工業側からの取り組みだけでなく、自分達側からの取り組みが見られるようになった。  
点線部に記載。



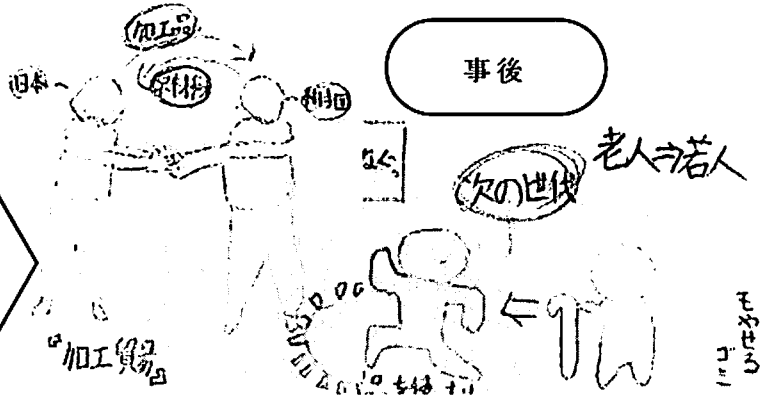
理由: 1. 環境問題  
2. エネルギーの節約  
3. 資源の有効利用  
4. 地球温暖化の防止  
5. 持続可能な開発目標の達成  
6. 社会の持続可能性の確保  
7. 消費者の意識の高まり  
8. 企業の社会的責任の履行  
9. 政府の政策の推進  
10. 国際的な協力の促進

事後

事前

事後

抽象的提案からの変容



①、休からの工業は地球のために環境を大切に自分達から出来ることをするそして次の世代につながる相手国と対良な関係を築く。

車の絵（おそらく自動車産業が何かしら開発するだろうという意識）から、自分たち一人一人が取り組むべきこと、相手国との関係を重視することへの気づき。





10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	今の工業の発展は、パソコンやインターネットのおかげで、少人数で作業できる。70年代のころ。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	今の工業は、パソコンやインターネットのおかげで、少人数で作業できる。70年代のころ。

8	西村三が関わった昔の工業と、JFEやREGALなどの今の工業とはどんな関係があるのか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	昔の工業は、鉄鋼業が中心で、大企業が多かった。今の工業は、多岐にわたる。鉄鋼業も重要な役割を果たしている。
9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	これからは、工業の自動化が進み、人手不足の問題を解決するために、AIやロボットが活用される。環境にも配慮した工業になる。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	工業の発展は、自分自身の成長にもつながる。新しい技術や製品を開発することで、社会に貢献できる。

他人事としての「これからの工業の姿」から、自らが現在の社会が抱える課題について考え、関わる姿勢に変わることができた。

10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	AIが普及して、単純な作業は自動化される。高度な技術や創造性が求められるようになる。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	工業の発展は、自分自身の成長にもつながる。新しい技術や製品を開発することで、社会に貢献できる。

8	西村三が関わった昔の工業と、JFEやREGALなどの今の工業とはどんな関係があるのか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	昔の工業は、鉄鋼業が中心で、大企業が多かった。今の工業は、多岐にわたる。鉄鋼業も重要な役割を果たしている。
9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	これからは、工業の自動化が進み、人手不足の問題を解決するために、AIやロボットが活用される。環境にも配慮した工業になる。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	工業の発展は、自分自身の成長にもつながる。新しい技術や製品を開発することで、社会に貢献できる。

10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	AIが普及して、単純な作業は自動化される。高度な技術や創造性が求められるようになる。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	工業の発展は、自分自身の成長にもつながる。新しい技術や製品を開発することで、社会に貢献できる。

10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	AIが普及して、単純な作業は自動化される。高度な技術や創造性が求められるようになる。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	工業の発展は、自分自身の成長にもつながる。新しい技術や製品を開発することで、社会に貢献できる。

9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	今の工業の発展は、海外からの技術や人材の流入によって進んでいる。今後も海外との連携が重要になる。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	工業の発展は、自分自身の成長にもつながる。新しい技術や製品を開発することで、社会に貢献できる。

9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	今の工業の発展は、海外からの技術や人材の流入によって進んでいる。今後も海外との連携が重要になる。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	工業の発展は、自分自身の成長にもつながる。新しい技術や製品を開発することで、社会に貢献できる。

10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	AIが普及して、単純な作業は自動化される。高度な技術や創造性が求められるようになる。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	工業の発展は、自分自身の成長にもつながる。新しい技術や製品を開発することで、社会に貢献できる。

10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	AIが普及して、単純な作業は自動化される。高度な技術や創造性が求められるようになる。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	工業の発展は、自分自身の成長にもつながる。新しい技術や製品を開発することで、社会に貢献できる。

9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	これからの日本の工業は、次の世代の自分たちが活躍の場となる。環境や社会課題を解決するために、新しい技術や製品を開発する必要がある。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	工業の発展は、自分自身の成長にもつながる。新しい技術や製品を開発することで、社会に貢献できる。

8	西村三が関わった昔の工業と、JFEやREGALなどの今の工業とはどんな関係があるのか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	昔の工業は、鉄鋼業が中心で、大企業が多かった。今の工業は、多岐にわたる。鉄鋼業も重要な役割を果たしている。
9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	環境のことを考え、人間にやさしい製品を開発していく。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	環境のことは、工業にだけ関係するのではなく、自分自身もリサイクルや省エネに関心している。





10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は工業は新産業をいれたいと考えるので、 変革したい。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	今の工業の關係は自分の物さか しんどいし、自分が自分自身を 変えておきたい。

10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業は、海外の工業に比べて、 人気がなく、と思う。でも、人が人々、 人々のくは、材料が人々、人々、 いた。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	これからの工業、人は自分自身を、 つくりたい(機械、スチール、 など)

9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は、いろいろな技術が、 よく長した、鉄、鋼、 など。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は、自分も工業に、 参加したい、 REGAL、JFE、 など。

9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業は、海外の工業に比べて、 人気がなく、と思う。でも、人が人々、 人々のくは、材料が人々、人々、 いた。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は、自分も工業に、 参加したい、 REGAL、JFE、 など。

自分達にも関わりがあることだから、これからも工業のことについて考えていく必要があるという意識の変容

10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業は、海外の工業に比べて、 人気がなく、と思う。でも、人が人々、 人々のくは、材料が人々、人々、 いた。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は、自分も工業に、 参加したい、 REGAL、JFE、 など。

9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業は、海外の工業に比べて、 人気がなく、と思う。でも、人が人々、 人々のくは、材料が人々、人々、 いた。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は、自分も工業に、 参加したい、 REGAL、JFE、 など。

10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業は、海外の工業に比べて、 人気がなく、と思う。でも、人が人々、 人々のくは、材料が人々、人々、 いた。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は、自分も工業に、 参加したい、 REGAL、JFE、 など。

10	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業は、海外の工業に比べて、 人気がなく、と思う。でも、人が人々、 人々のくは、材料が人々、人々、 いた。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は、自分も工業に、 参加したい、 REGAL、JFE、 など。

9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業は、海外の工業に比べて、 人気がなく、と思う。でも、人が人々、 人々のくは、材料が人々、人々、 いた。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は、自分も工業に、 参加したい、 REGAL、JFE、 など。

9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業は、海外の工業に比べて、 人気がなく、と思う。でも、人が人々、 人々のくは、材料が人々、人々、 いた。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は、自分も工業に、 参加したい、 REGAL、JFE、 など。

9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業は、海外の工業に比べて、 人気がなく、と思う。でも、人が人々、 人々のくは、材料が人々、人々、 いた。
11	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は、自分も工業に、 参加したい、 REGAL、JFE、 など。

9	これからの日本の工業はどのように変わっていくだろうか、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	日本の工業は、海外の工業に比べて、 人気がなく、と思う。でも、人が人々、 人々のくは、材料が人々、人々、 いた。
10	これからの日本の工業と自分自身の関係について、自分が考えたことをもとに書いてみよう。	私は、自分も工業に、 参加したい、 REGAL、JFE、 など。

工業に関わる人びとが努力している、という視点から自分達も工業にこれから関わるかもしれないから工業のことについてより知っていく必要があるという意識の変容が見られた。

工業に関わる人々がこれからも努力していく、努力を続けていくという考えから自分達も工業や企業にニーズを出したり、求められるべきニーズを考えたりしようとする意識の変容が見られた。

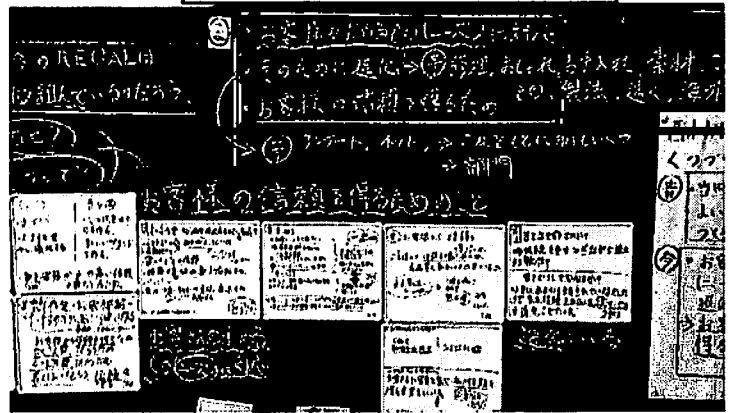
これからの工業は今関わっている人だけでなく、次の世代への取り組みも行っている。次の世代ということは、自分達への取り組みを行っている。

だからこそ、自分達も一緒に取り組めることは取り組んでいかなければならないという意識の向上が見られた。

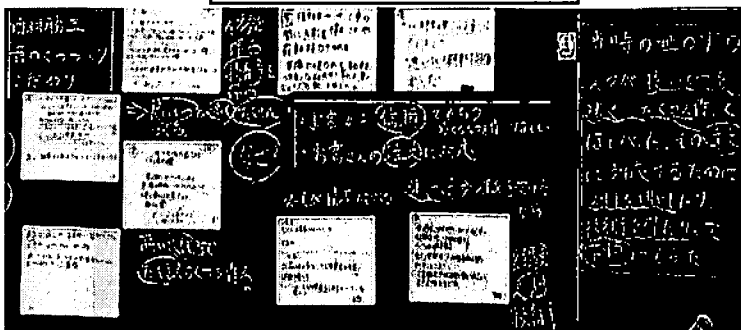
資料6 授業の板書

時代によってニーズは変化しているが、ニーズに応える姿は変わらないことに気づき、時間を超えて共通する課題があることを理解することができた。以上のことからこれからの工業も同じように社会からのニーズに対応することで発達していくことを考察できた。さらに児童はこの時点でこれからの工業を考える際に、どのようなニーズが求められているのかや、ニーズを考えていくのは自分達がやるべきだということ、それを次の世代につなげるといったことまでを考え、教師側が設定した仮説を飛び越え、考察することができた。

現代のREGALの板書



過去の靴造りの板書



過去と現在の比較の板書

